

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立相生小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・家庭に呼びかけ、連携して取り組んだことで、学習したことを実践しようとする児童が多く見られるようになった。
- ・制作活動や調理実習などに意欲的に取り組むことができた。
- ・タブレットを用いた学習や発表を計画することで、意欲的に自分の興味に沿って調べたり、考察したりしてまとめている姿が見られる。

(2) 課題

- ・調理や裁縫の技能（基本的な手縫い）の定着には個人差が大きく、基本的な技能の定着が不十分である。
- ・机上での学習がなかなか生活に生かされない。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・手縫い、ミシンの技能は個人差が大きい、繰り返し練習をさせる。 ・学習計画を綿密に立て、外部ボランティアを活用して個別に声をかけたり指導したりできる時間を確保する。 ・作業の見通しをもって取り組める教材の用意や提示を工夫する。学習したことを家庭でも実践させる機会を設ける。	・ワークシートや家庭科ノートを用いて計画を立てさせる。 ・单元ごとに、家庭科で学習したことを自分の家庭生活のどの場面で生かせるかを具体的に考えさせる。 ・タブレット用の思考ツールを活用して、グループ内で調べたことを発表する機会を設ける。	・学習の導入として動画や写真等を見せるためにタブレットを活用する。 ・学習のめあてを明確にもてるように事象や体験など導入における課題設定を大切に、教材の選択や活動の工夫をしていく。 ・調べ学習に積極的に取り組めるように、デジタル教科書や写真資料など視聴覚教材を導入する等教材や活動の工夫をしていく。 ・「見つける・気付く」「わかる・できる」「生かす・深める」という学習サイクルを繰り返すことにより、自分の生活をみつめより良く生活しようとする態度を育てる。